



発達障害に対する正しい理解を

皆さんは発達障害について知っていますか。発達障害は「人とコミュニケーションをとるのが苦手」「物事の得意と不得意が極端」「こだわりが強く、周りが見えにくい」などの特性を持つ人が、その特性があるがゆえに社会生活への適応が難しい状態のことをいいます。そのような特性がある人は、脳機能の発達に偏りがあると考えられていますが、明確なメカニズムは分かっています。

発達障害の原因となる特性があると、どのような生活の難しさがあるのでしょいか。例えば、「あいまいなことについてイメージしにくい」という特性を持ったAさんの場合、お母さんがAさんに「お風呂を見てきて」と頼むと、Aさんはお風呂を見に行きませんが、お湯があふれそうになっていたとしても、止めずに帰ってきてしまいます。もし、Aさんがお母さんに叱られたとしても、お母さんに言われたとおりにしただけなの

で、どうしても叱られたのかわかりません。こういったときはどうすればいいでしょうか。お母さんが「お湯が湯船いっぱいになっていれば止めてきて」と具体的に言えば、Aさんは用事をすんなり終わらせることができたかもしれません。この例のように、強い特性を持った人でも、周囲の人が、その人に合った工夫をすることで、社会生活がスムーズに送れる場合が多いのです。

市では、保健師や臨床心理士、言語聴覚士などの専門職が発達障害の相談に応じています。気になることがあれば気軽に相談してください(関連21ページ)若者の発達相談ができます「子どもの発達について相談できます」。発達障害を正しく理解し、それぞれの特性を認めることで、みんなが活躍できる住みよい社会をつくっていきましよう。

☎保健福祉課(☎0848・67・6359) 0848・67・5934

人権標語 (小学5年生)
じんけんは だれもがもってる たからもの

三原市×三原テレビ×FMみはら連携

ミハラ発信会議⑫ 8月号からミハラ発信会議コラボ企画始動!

三原市・三原テレビ放送・FMみはらは、広島国際空港株式会社と連携して8月からコラボ企画「空港人のお仕事」の連載・放送を始めました。この企画では空港や関連企業で働く「人」に注目。普段知ることのできない仕事の内容やその仕事に懸ける思いを聞きました。

取材内容は本誌の新企画「空ゆけ! 羽ばたけ! 広島空港」(17ページ)に掲載。三原テレビは8月4日(水)から「ニュースウェーブ三原」内に空港のコーナーを設けて毎月1回放送。FMみはらでもラジオ版として編集し放送予定です。放送日時など詳しくはFMみはらHPで確認してください。



▲三原テレビ放送が取材の様子 (7月5日広島空港滑走路で撮影)

